

ページ・項目	ご意見	深谷市の回答	計画案の修正
<p>1, 地球への負荷が少ない脱炭素なまちづくり</p> <p>「ゼロカーボンシティふかや」宣言</p>	<p>「脱炭素」と「ゼロカーボンシティふかや」宣言に反対。</p> <p>以下、理由</p> <p>① 温暖化には科学的根拠がない。温暖化説に疑義を唱える科学者も少なくない。</p> <p>② 温暖化が有害とも限らない</p> <p>③ 地球温暖化の原因はCO2ではないという科学的根拠もある</p> <p>④ 「たとえ2050年にCO2ゼロになっても気温は0.01℃も下がらない」という科学的知見もある</p> <p>⑤ 再生エネルギーは電力供給が不安定である。また、太陽光パネルの破損事故は廃棄により環境汚染の懸念もある</p> <p>⑥ CO2排出量最多の中国が規制しておらず、脱炭素政策は日本政府の政治的利権問題だ。</p>	<p>本市では、2050年までにゼロカーボンを目指す国の環境政策に賛同する形で、令和3年1月に「ゼロカーボンシティふかや」宣言を行いました。</p> <p>今回の環境基本計画の見直しは宣言の趣旨に沿うものであり、低炭素社会から脱炭素社会への移行を目指し、令和12（2030）年度までに平成25（2013）年度比で、市内の温室効果ガス総排出量を約46%削減し、長期目標として2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すこととしています。</p>	なし
<p>1, 地球への負荷が少ない脱炭素なまちづくり</p> <p>「ゼロカーボンシティふかや」宣言</p>	<p>ゼロカーボンで近年の異常気象が解決するだろうか？</p> <p>世界には途上国や中国など、CO2を削減するつもりのない大量排出国があり、解決は困難であると思う。また、産業に不用意にCO2排出制限をかけて、経済を破壊することはあってはならない。</p>	<p>環境政策の方向性や有効性には様々なご意見がございますが、脱炭素社会の実現は、本市の環境向上のための課題であり、市民・事業者・行政のあらゆる主体で取り組んで参ります。</p> <p>なお、いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>	なし
<p>1, 地球への負荷が少ない脱炭素なまちづくり</p> <p>「ゼロカーボンシティふかや」宣言</p>	<p>脱炭素とゼロカーボンシティふかや宣言に反対。</p> <p>地球温暖化には科学的根拠がなく、CO2ゼロになっても気温は0.01℃も下がらない。</p> <p>税金の無駄使いだ。</p>		なし